

ITC-J 第38期 テーマ : 心機一転 Guiding the Way

カウンスルNo.7 第32期 テーマ : 個の輝き ~Enjoy Yourself~



カウンスルNo.7 第32期会長 下手 泰子

「会合中止にあたって～備えよ常に～」

今年は不思議なくらいの暖冬でした。といってもやはり暖かな春の風を感じるこの季節の訪れは心躍るものです。百千鳥という言葉がありますが、私の住む田舎の道を歩いていると、なんの鳴き声ともわからない様々な鳥の囀りが聞こえ、正に春たけなわといった風情です。

しかしこの浮き立つような心を曇らせるように、今年の冬から流行した新型コロナウイルスの影響で、世界中が混乱に陥っています。沢山の方が罹患され、お亡くなりになった方もあります。心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。政府より、2月末から大きなイベントの中止要請が行われ、No.7でも『ITC-Jのつどい』を中止しました。さらに第2回会合は、縮小会合として年次大会への出場者を決めるためのスピーチコンテストのみの会合として行うことにしました。しかし年次大会中止の通達があり、カウンスルでもコンテストを中止するに至りました。スピーチコンテストはITC-Jのメインイベントであり、皆様も大変楽しみにされていたことでしょう。またコンテストの皆様も、この日に向け準備をなさっていたことでしょう。大変申し訳なく残念に思っております。また第2回会合で行う予定でした審議事項については、役員選挙は郵便で、その他の審議についてはメールで行いました。No.7では初めての試みで試行錯誤しながらでしたが、皆様のご協力が無事に審議の形が整いました。結果につきましても速やかにお知らせするよう準備しております。

思えば今期が始まった時、誰もこのような状況を予想していませんでした。普通に一年を過ごすことが当たり前とっていたのです。「備えよ常に～いつなん時、いかなる場所で、いかなる事が起こった場合でも善処できるように、常々準備を怠ることなかれ～」、正しくその言葉を実感する毎日です。大変な状況ではありましたがITC-Jは学びの場です。今回のこの出来事をただ悲観的にみるのではなく、与えられた状況の中でどのような対処をするかという事を考える貴重な機会と考えようと思います。(思うように努力しています。)

そして第3回会合もすでにお知らせしましたように中止することと致しました。どうか皆様、ご健勝にお過ごしくださいませ。そして次にお会いする時は、飛び切りの笑顔でお会いできますようにと祈りながら、ご挨拶とさせていただきます。

第32回スピーチコンテスト



鳥取クラブ 田村 康悦会員

論 題 : 時間 題 目 : 何よりの贅沢

昨年春に入会し、初めてのスピーチコンテストでまさかの代表に選んでいただきました。大変緊張しておりますが、なかなかできない経験をさせていただけることが楽しみでもあります。皆様と、このスピーチコンテストを楽しめるよう、精一杯頑張りますので、温かく見守ってくださいと嬉しいです。

米子クラブ 細田 恭子会員

論 題 : エール 題 目 : 呼び方いろいろ

我がクラブは少人数での会合ですが、有難いことにいつもマイクが準備してあります。スピーチコンテストでは皆様のスピーチをいつも感心しながら聴いていていましたが、いざ逆の立場になると内容が問題です。今回は日頃思っていることをスピーチすることにしました。

ITC-Jに所属している限りいつまでも挑戦が続きます。



倉吉クラブ 野口 美智枝会員

論 題 : 出会い 題 目 : 時をためる

様々な出会いは、私たちの人生を豊かにしてくれます。これからも、きっと素敵な出会いがあると思うと、ワクワクしませんか。出会いから私を感じた事、今、感じている事を皆様にお伝えできたらと思います。

今日の出会いに感謝を込めて。

出 場 者 の ご 紹 介



米子マンデークラブ 森 俊子

論題:プレゼント 題目:現在(いま)の自分を自覚する事

皆様に聴いていただくような大したスピーチの内容ではありませんが、主人と二人の平凡な日常生活を送るこの頃、身近な出来事の中にほんのささやかな嬉しくなることがあり、そのことをお話ししようと思います。しかし、この事は、現在(いま)の自分の状況を知らされることにもなり、少し寂しくもありました。

出雲クラブ 和田 節子

論題 : 令和 題目 : 日々感謝!

95歳になる母親と私の命が今も奇跡的に生き続けることができている、ある大きな出来事、エピソードについて話し、私たち2人が、日々感謝して令和の御代に生かしていただいている気持ちを皆様にお伝えできればと思っています。(ある大きな出来事とは昭和21年12月21日未明に発生した和歌山県沖を震源とする震度8の南海トラフ地震で大社町にある生家が倒壊したこと。)



とっとり砂丘クラブ 日下部 恵子

論 題 : 記 憶 題 目 : 「たかが17音 されど17音」

2年前から始めた俳句です。
その2年間の俳句に対する自分の気持ちの変化を表現しました。
たかが17音の部分前半に、されど17音の部分を後半に、論題の「記憶」を意識しつつ、構成致しました。
自作の俳句を3句ほど紹介させていただきます。共感していただければと思っております。



「言葉でつなぐ即興スピーチ」

9月例会で、ITC-J教育資料「言葉でつなぐ即興スピーチ」を実践しました。先ず4名ずつ3グループに分け、各グループの最初の人は一覧表に記された一つの名詞を選んで1～2分間スピーチをします。次の人からは接続詞のカードを引き、その接続詞を使ってつないだ即興スピーチは意外な展開となり、発表者もフロアも大いに楽しみました。さらに動詞、形容詞を使ってつなげば、違った面白さが生まれる予感もしました。教育で「即興スピーチ」を学び、教育と連携させた有意義なプログラムになりました。

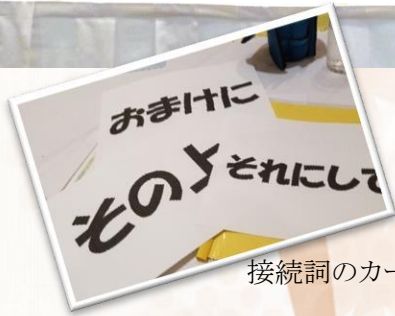
第一副会長 田中英子



1チーム4名で話をつなぐ



「おまけに」を使って話を続ける山岡さん



接続詞のカード

35周年記念野外例会

米子クラブは、35周年記念野外例会として倉敷・美観地区へ出掛けました。10月23日好天に恵まれる中、倉敷物語館でビジネスを行い、レストラン「八間蔵」で楽しく食事を頂いたのち、大原美術館、大原孫三郎が「家族のために落ち着いた住まいを」と建設された大原家別邸となる有隣荘、そして大原本邸へも足を延ばし離れ座敷である「思索の間」で美味しいお抹茶を頂きました。タイトなスケジュールではありましたが、代々の当主がくつろがれた離れ座敷の落ち着いた世界に身を置き、暫し、日頃の疲れを癒すことができました。会員の思い出に残る良い例会になりました。

第一副会長 柴田久美子



大原家別邸となる有隣荘



倉敷物語館



倉吉

ワークショップ「スピーチって面白い！」

教育・プログラム委員会合同で、ワークショップ「スピーチって面白い！」に挑みました。スピーチの構成と発表について学び、アリとギリギリスの朗読劇のあと、グループに分かれ、「ギリギリスに餌をあげない・あげる」の2つの主題で、仲間のアリに対して説得スピーチを構成し、発表するという実践をしました。要点、裏付けには色々な意見が出され、要領よく発表でき大いに盛り上がり、再度の企画希望も多く寄せられました。

第一副会長 廣田花江



アリとギリギリス朗読劇

米子マンデー

「私は大丈夫！」

「私は大丈夫！」を、2回に亘って行います。2月に小西会員が担当し、私達の高齢化が抱える問題を危惧し「官公庁資料を見ながら未来を予測、①老後資金計画 ②楽しみ・生きがい ③健康寿命」について、明るく希望を持ち、社会の変化に取り残されないよう努力を促す教育でした。5月に同じテーマで、違う角度から捉え意識を促します。9月には、仮想通貨についても挑戦しました。大丈夫！

教育/プログラム委員長 小川 乃り子



小西会員



バザーも行っています



ワンチーム

どう見積もっても資金が足りない。30周年を前にして、資金捻出を目的に、12月例会「教育」は〈バザー&スピーチ〉と題し、オークションによるバザーと決めました。出雲クラブではほとんど経験のないバザーでしたが背に腹は代えられません。どのように行うか思案し、getしたい品物が重なればスピーチによって、フロアーが決める。「前から集めていました。」この一言でgetした人もいます。とても和やかな楽しいひとときでした。お買い上げ金額が目標の3倍弱となり、一息つきました。

第二副会長 景山 良子



教育 「大人のセルフメイク」

とっとり砂丘

2月例会では、「大人のセルフメイク」と題し当クラブの松下恵美会員を講師に教育が行われました。松下会員は、「美」に関する仕事に携わり、「あなたは、何故メイクをするのですか」の質問から始まり、皮膚の構造、化粧品の特徴・効果の説明を受け、会員の中からモデルを出し、メイクをする前と後の違いを見せて頂きました。又、エイジングケアに関しては皆、真剣に聞き入っていました。心地よい香りの中に笑顔が溢れる楽しいひと時でした。

第一副会長 日下部恵子



わあ〜すべすべ！

まずはお肌についての基礎知識を

プロの技に興味津々



下手泰子会長の
爽やかなご挨拶と
落ち着いた会合進行
は印象的でした

公式訪問者
ITC-J高山教子会長の報
告はユーモアがあり簡潔で
分かり易かったです



佐野千賀子様
「コメント力を高める」の講演とワークショップは
全員参加で活発な意見発表が行われ
楽しみながら学ぶことができました

第32期第1回会合模様



インスピレーション

私は人前で話をするのが少し苦手 だからこの会に入会した
ここでは皆 話し上手で感心し 聴く喜びを感じる
けれど私は未だにおぼつかない でも気づいたことがある
一喜一憂せず 諦めず 学び続けることが大事だと
真摯に取り組む姿に優劣はなく その姿が胸を打つ
万事塞翁が馬 誰の為でもなく自らの心を磨き輝こうではないか

問 朝美（米子クラブ）

カウンスルNo.7第2回会合で発表される予定でした

「ビブリオバトル」～知的書評合戦

第3回会合ではクラブ対抗のビブリオバトルを行う予定にしていました。
皆様のクラブではどんな本が選ばれていましたか？
各クラブからの紹介される本はホームページに掲載して頂こうと思います。
どんな本が出てくるか、楽しみです！きっと手に取って読みたくなる本が
見つかると思います。
せっかくですから、ルールやコツなどご紹介します。



まずは公式ルールをチェックします。—ビブリオバトル普及委員会—

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に対するディスカッションを2～3分行う。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

さらにNo.7では

- 二人一組で1冊の本を紹介します。
- 今回は「小説」か「エッセイ」に限定しています。
- 紹介の仕方、二人の時間配分などは自由です。
・・・というルールで行う予定でした。



まずは本選び！「一見しただけで興味を引くタイトルと表紙」

【編集後記】

「ゴールデンリング2号」をお届けします。第2回会合のスピーチコンテストは中止になりましたが、クラブ代表として出場される予定だったスピーカーの横顔を紹介しました。コンテストへの思いが伝わってきます。「クラブ例会あれこれ」では、其々のクラブ例会を大いに自慢していただきました。会員の笑顔に臨場感が伝わってきます。お読みいただいた皆様に少しでも元気を感じていただけたら幸いです。

快く原稿をお寄せいただきありがとうございました。

(編集者:田中英子 編集スタッフ:柴田詩緒、廣田花江)